令和元年　第４０回　河川浄化啓発作文

一席　　城内小学校３年　古賀　壮太

魚たちの声をきいてください

ぼくは、川をきれいにすることを考えるとき、わすれてはいけないことは、そこに生活する魚たちや生き物がいるということだと思います。

ぼくたち人間は、家があって、その中でごはんを食べて、ねて、遊んで、楽しくわらってくらしています。

でも、魚たちは、どんな生活をしているのだろう。

魚たちは、川の中で、ほかの生き物とくらしています。

しかし、人間がおとしていったゴミでけがをしているのかもしれません。せんざいなどでいきがくるしくなっているかもしれません。

でも、魚たちは、人間とちがって、びょういんに行くことができないのです。魚たちは、声に出して、

「くるしい、たすけて。」

といえません。

だからこそ、ぼくたちは、魚たちの気持ちも考えることが大切だと思います。

そこでぼくたちが、魚たち、生き物たちのためにできることは何か考えてみました。

一つ目は、川をよごさないために、自分からゴミをすてないことです。そして、家ぞくや友だちにもつたえたいです。

二つ目は、地くでの川のそうじをするときに自分に出来ることを手つだうことです。

三つ目は、川の中にくらす魚たち、生き物が、生きていることをわすれないことです。

魚たちも、ぼくたち人間と同じように、にこにこ楽しくくらせるように、ねがっています。

ぼくたちもなかよくくらしたいと思っています。

魚たちが元気でいれるようにねがっています。